

[第 144 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 5 年 11 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 5 年 12 月 2 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.285～(用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- 懇親会 17 時 45 分～ 場所 ウエストレイクホテル可以登楼
(JR 安曇川駅前) ☎0740-32-3131
- 参加費 5,000 円★参加いただける方は、11/25 までに田中までご連絡ください。

2023 年 11 月 4 日(土)、近江聖人中江藤樹記念館で第 143 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都、長浜からの参加者を入れて 7 名でした。

■ テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第六巻 廉貪報の序、第 1 話

■ あらすじ

序 廉はむさぼらないことである。廉の境地にある時は、財宝を私用にも利用し公用となって人をも救うように道理にかなった使い方ができる。(以下略)

■ 配布資料

(1)「まなざし 462 号」、(2)「福善禍淫」(『翁問答』)、(3)「幸福の条件」(致知)、(4)「ノーベル賞受賞者、カタリン・カリコ氏」(ウィキ・ペディア)」

■ 今日のポイント

- ・ 廉の境地にある時は万物一体に仁が明らかで必ず素晴らしい報いがある。
- ・ 善行をすることにより、五福のいくつかを得ることができる。
- ・ 貪る者は、金銀を惜しみ自・他のために使わないことは愚痴で、禍も山のように集まる。
- ・ カタリン・カリコ氏は1955年生まれ。ハンガリーで20代の時、RNA 研究に取り組み、その後渡米してからも RNA 研究に取り組んだ。しかしその研究が評価されない不遇な時を長く送った。50代の時に mRNA の医療への応用の道を実証し、65歳の時新型コロナウイルスが猛威を振るったときにコロナワクチン開発に決定的な貢献をしたことが認められた。彼女はノーベル賞受賞について、「私は称賛を受けることはそれほど重要ではない。嬉しいのは私の研究によって誰かが救われたということだ」。…人類の大恩人である彼女の謙虚な姿勢が素晴らしい！

■ フリートーク

- ・ 「お金といのち。いのちは有限だから大切にしなければならない。お金は生きた使い方をしなければならないと思った」

他、いろいろなご意見をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。

